

教科(科目)	数学	総時数	210時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	学校図書『中学校数学3』、数研出版『NEXT 数学I』、数研出版『NEXT 数学A』				
副教材等	数研出版『CONNECT 数学I+A』、数研出版『チャート式 基礎からの数学I+A』 数研出版『CONNECT 数学I完成ノート』、数研出版『CONNECT 数学A完成ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル (地域的・地球的) な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数学における基本的な概念や原理・法則の体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 授業で基本的な知識・理解をし、課題で深く定着させるよう計画的に授業を行う。</p> <p>② 定期的に既習事項の復習を行い知識・理解の定着を確認するとともに、発展問題で思考力・表現力を育む。</p>
--

4 評価の観点と趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に、また事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察し、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。</p>	<p>数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト、朝テスト ・提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト、朝テスト ・提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取り組みの観察 ・小テスト、朝テスト ・提出物 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	【数学Ⅰ】 第1章 数と式	1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法 3. 因数分解	・数と式の学習に関心を持ち、基本的な概念や計算に興味をもって取り組んでいる。	20	授業の取り組み 筆記試験 提出物
5		4. 実数 5. 根号を含む式の計算 6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式	・数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・式を多面的にみたり処理したりする。 ・1次不等式を事象の考察に活用できる。	20	授業の取り組み 筆記試験 提出物
6	第2章 集合と命題	1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明	・集合と命題の学習に興味をもって、進んで学習している。 ・集合と命題について理解している。	20	授業の取り組み 筆記試験 提出物
7	第3章 2次関数	1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ	・2次関数の学習に興味をもって、進んで学習している。 ・2次関数とそのグラフについて理解している。	18	授業の取り組み 筆記試験 提出物
8		3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	・2次関数を用いて数量の関係や変化を表現できる。 ・2次関数について学んだことを事象の考察に活用できる。	6	授業の取り組み 筆記試験 提出物
9	第4章 図形と計量	1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張	・図形の性質に興味をもって、進んで学習している。 ・図形の性質について理解している。	18	授業の取り組み 筆記試験 提出物
10		4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の活用 7. 三角形の面積 8. 空間図形の活用	・図形の性質に興味をもって、進んで学習している。 ・図形の性質について理解している。 ・発展的な学習内容を題材として、数学的な見方や考え方の重要性を認識する	20	授業の取り組み 筆記試験 提出物
11	第5章 データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数 4. 分散と標準偏差 5. 2つの変量の間関係 6. データの分析を活用した問題解決 7. 仮説検定の考え方	・資料を整理する方法を用いて資料を整理する。 ・代表値の意味や特徴を知り、資料を様々な視点から分析・考察する ・発展的な学習内容を題材として、数学的な見方や考え方の重要性を認識する	25	授業の取り組み 筆記試験 提出物
12	課題学習	絶対値を含む関数のグラフの扱い、不等式等への応用など	・発展的な学習内容を題材として、数学的な見方や考え方の重要性を認識する	11	授業の取り組み 筆記試験 提出物

1	【数学A】 第1章 場合の数と確率	1. 集合の要素と個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ	・場合の数と確率の学習に興味をもって、 進んで学習している。 ・場合の数について理解している。	16	授業の取り組み 筆記試験 提出物
2		5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率	・場合の数と確率の学習に興味をもって、 進んで学習している。 ・確率について理解している。	20	授業の取り組み 筆記試験 提出物
3		8. 条件付き確率 9. 期待値	・場合の数と確率の学習に興味をもって、 進んで学習している。 ・条件付き確率について理解している。	16	授業の取り組み 筆記試験 提出物

計 210 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・原則スタディプラン内で指示します。(授業の復習中心)
- ・長期休業中は、別途指示します。

8 担当者からの一言

いよいよ前期最高学年です。ですが、特別変わったことをする必要はありません。これまでどおり積極的に授業に参加し、どんどん発言しましょう。日々の課題にコツコツ取り組み、疑問点はその都度質問して解消しましょう。ともに学びあい、ともに高め合っていきましょう。

(担当：瀧澤)